

「塾生の活動が大きなうねりとなって、市民全体に広がれば古里を大切にするといい心も生まれる。住み良いまちを自ら



つくっていくという塾生のこうした活動は本当に意義深い」  
石巻専修大の人間力育成講座「耕人塾」の塾長

を務める木村民人間学だ。

部客員教授は先日、同大であったプロジェクトKの「動くごみ箱」作りを励む塾生(中学生)の姿に目を細めながらうれしそうに話した。

### 動くごみ箱

動くごみ箱は段ボールを加工し、リュックサツ

の形にしてごみを回収する「新兵器」。昨年、塾生が発案し、背負いながらごみを回収する姿は多くの共感と反響を呼ん

だ。塾生の中には「ごみの回収を呼び掛けると『どうもね。ありがとう』と笑顔で渡してくれる人もいた。とてもすがすがしい気持ちにもなれた」と

語るなど喜びも大きかった。

ごみ箱作りをしていた塾生の中には「ごみ箱のデザインをカラフルにし、ごみを入れたくなるようにしたい」「昨年、

肩掛けかばん用のごみ箱を作ったが、肩がつかなくなって作業がスムーズにいかなくなった。今年は工夫を凝らしたい」などの意見も。活動に対する真剣さがひしひしと伝わった。

塾生は、あす1日の「第95回石巻川開き祭り」で中心市街地など3カ所の「ゴミゼロステーション」と名付けた場所で、奉仕活動をする。市民の皆さん、温かい言葉を添えて協力をお願いします。  
(桜井泉)